

# 回覧


避難所における新型コロナウイルス感染症対策について注意事項をまとめました。もしもの際にはお役立てください。

## 〈基本的な考え方〉

- ①避難所の過密防止
- ②避難所の衛生管理及び避難者の健康管理の徹底
- ③避難者自身の感染予防・感染拡大防止措置の理解と協力
- ④体調不良の避難者への適切な対応

## 〈具体的な対策方法〉

### ①避難所の過密状態防止

- ・ハザードマップ等で安全を確認したうえで親族・友人宅への避難や、自宅での垂直避難を検討する。
- ・市は避難情報が発令された区域内に加え隣接小学校区の避難所を開設する。
- ・避難者同士の間隔を2メートル程度確保する。
- ・大雨時に浸水被害想定のない避難所で車中泊避難を想定する。
- ・ホテルや旅館等の活用を検討する。

### ②避難所の衛生管理及び避難者の健康管理の徹底

- ・定期的な体温測定や清掃、消毒など感染症予防対策を徹底する。

### ③避難者自身の感染予防・感染拡大防止措置の理解と協力

- ・個人に必要なマスク、除菌シートや体温計、食料等を持参する。
- ・咳をする時は、ハンカチ等で口を押える咳エチケットを守る。

### ④体調不良の避難者への適切な対応

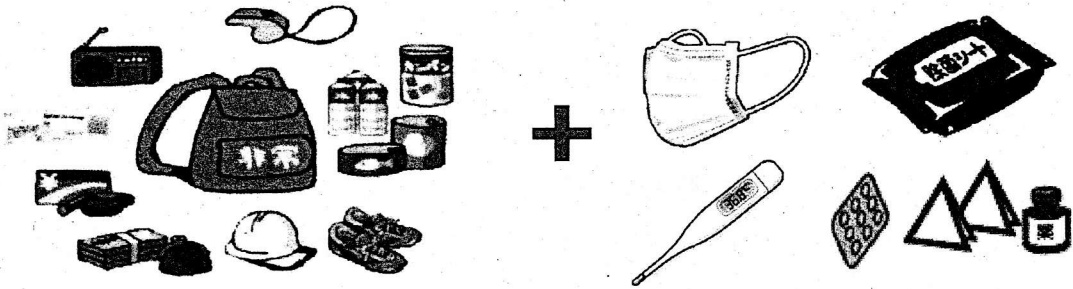
- ・発熱や咳のある避難者のための専用スペース（居室・トイレ）を確保する。

「感染症対策へのご協力をお願いします。」

## 事前の備え

- 避難所に避難するだけでなく、災害の危険性のない場所(家族・友人・知人宅)へ避難することも事前に検討しましょう。
- 自宅の安全な2階以上への避難(垂直避難)も検討しましょう。

通常の非常持ち出し品に加え、マスクや除菌シートを備えておきましょう。



岡山市では、避難所での感染防護具の準備に努めますが、数に限りがありますので、可能な限り各自ご持参ください。

また避難所では体調確認のため検温等にご協力いただくことがありますが、体温計が不足していますので持参してください。

持ち出し品：非常食、ペットボトル、健康保険証、現金、軍手、懐中電灯、ラジオ、筆記用具、眼鏡、洗面用具、ヘルメット、ホイッスル、防寒着、電話の充電器、モバイルバッテリー等

## 避難所での過ごし方

### 3つの密を避けましょう！

①換気の悪い

**密閉空間**

1時間に1回は  
換気する

②多数が集まる

**密集場所**

避難者同士の  
距離を保つ

③間近で会話  
や発声をする

**密接場所**

近距離での会話や発  
声は最低限で

3つの条件がそろう場所がクラスター発生リスクが高い！！

### 手洗いや咳エチケットの励行

避難所で様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。こまめに手洗い、咳をする時は、ハンカチ等で口を押えてください。